

お魚殖やす植樹運動 100年前の浜の再生



自：自然共生
資：資源循環
低：低炭素

キーワード

地方創生、官民連携、
森林・里山活用、水辺の保全・再生



フィールド

北海道 ・ **森川海**

実施体制

北海道漁協女性部連絡協議会（北海道内の各漁協の女性部が参加。）、北海道信用漁業協同組合連合会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、北海道、農協、流通事業者、コープさっぽろ



アクションの目的

河川上流において植樹や保育(草刈り、枝払いなど)をして豊かな森を育てることで、「百年かけて百年前の自然の浜を」目指している。

アクションの背景

1988年、北海道漁協婦人部連絡協議会（現女性連）により「お魚殖やす植樹運動」と名付けて河川上流部への植樹活動が開始された。陸域での開発行為が水産資源に深刻な影響を与えてきたという思いが背景の一つにあり、江戸時代から伝わる「魚つき林」の考え方にヒントを得ている。道森林組合連合会の協力・指導も得て実施された。

アクションの内容

【浜で水揚げされる水産物】

河川上流において植樹や保育(草刈り、枝払いなど)をして豊かな森を育てている。豊かな森が土砂流出を抑え、雨を蓄えて、養分豊富な地下水を川へ流し、魚を育てることが期待されている。（植樹する苗木の種類は、ミズナラやイタヤカエデ、エゾマツなど、漁協によって異なる。）

1998年に東京で「全国漁民の森サミット」が開催されたことなどを機に、漁業者による植樹活動の取組が全国各地に広がることにより、取組発祥の地として注目を集める効果を得ている。

アクションのポイント

◎森－川－海のつながりの視点を持ち、全道の漁協で25年以上にわたって取組を継続している。

◎取組の推進にあたり、「百年かけて百年前の自然の浜を」というキャッチフレーズをつくり、共感を得やすくしている。

アクションの効果と今後の展開

○道の助成事業の活用にあたり、農業団体や魚類の流通事業者と連携しての植樹も行っている。

○またコープさっぽろも、レジ袋辞退者1人につき0.5円を拠出する「コープ未来(あした)の森づくり助成制度」で苗木支援の助成を行うなど、地域全体で運動に取り組んでいる。

○植樹活動に子どもも参加していて、地域への愛着をはぐくむことにつながっている。

北海道漁協女性部連絡協議会

〒 060 - 0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目

(問い合わせ先) ○ TEL / 011-805-1010 ○ FAX / 011-805-1011 ○ E-Mail / kankyo@gyoren.or.jp

○ web / <http://sakana-fuyasu.jp/top.html>